令和４年９月熊本県議会定例会

農林水産常任委員会報告資料

①　災害復旧事業の進捗状況等について

農 林 水 産 部

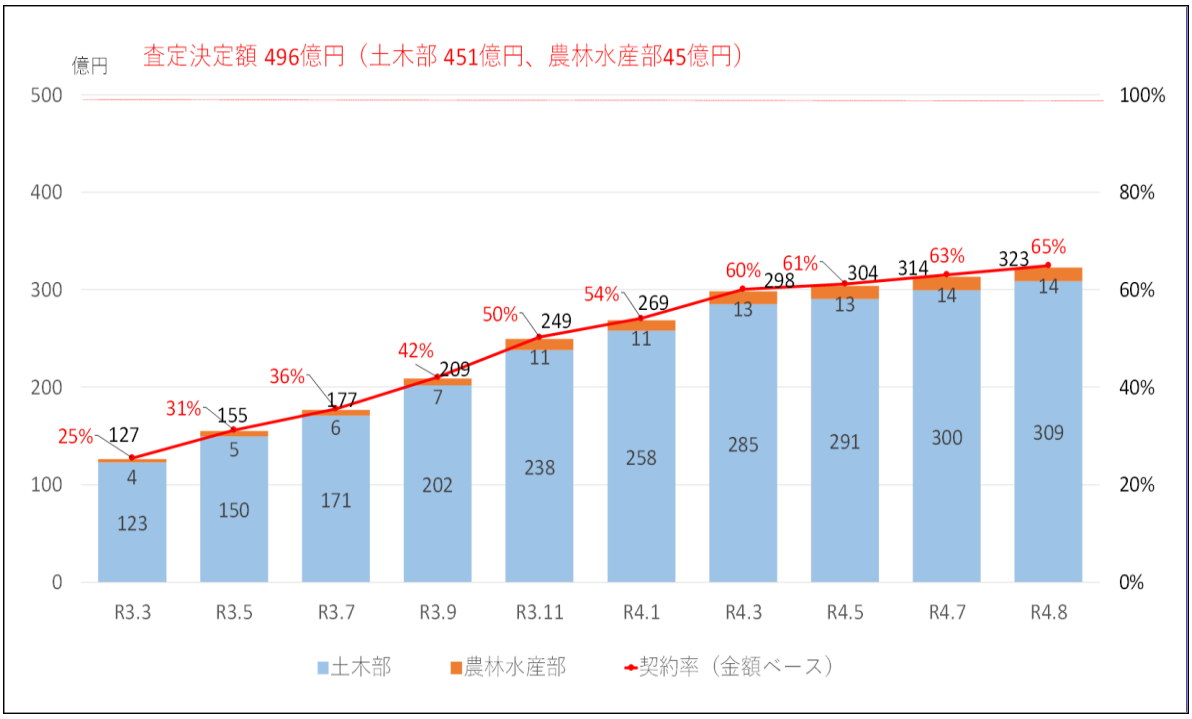
報告事項１

令和４年９月３０日
農林水産政策課・監理課

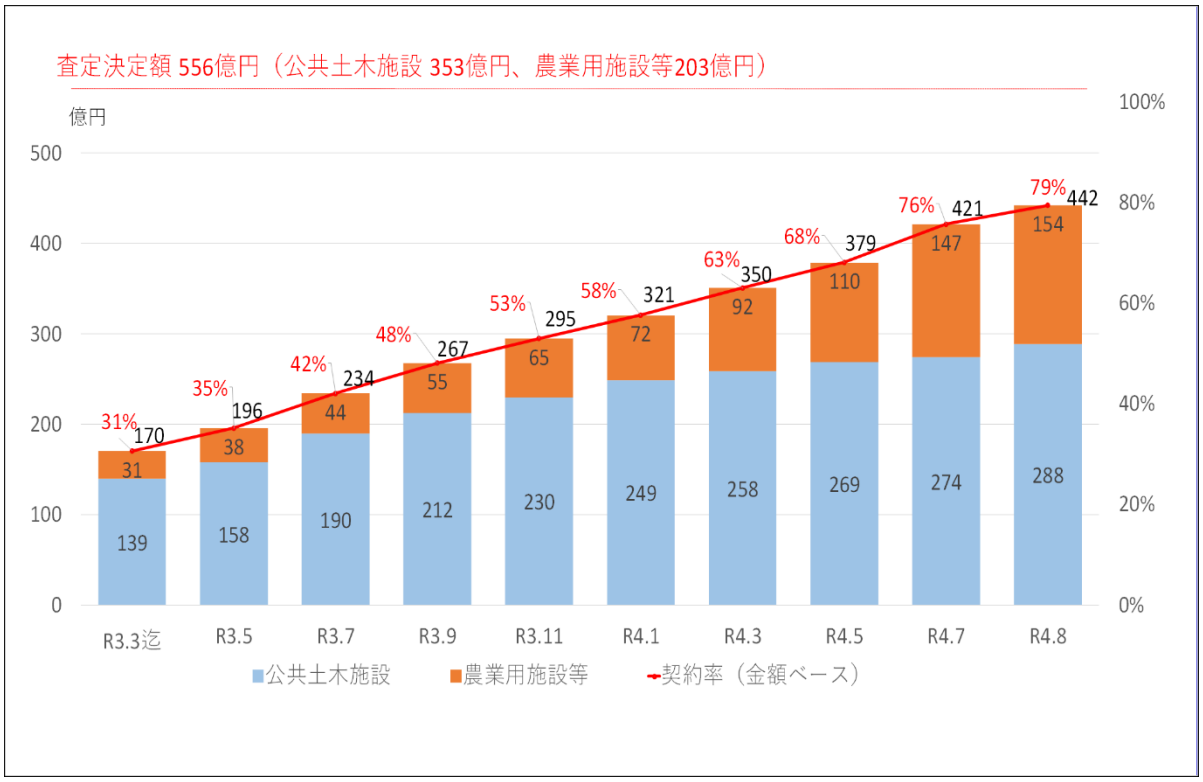
災害復旧事業の進捗状況等について

１　令和２年７月豪雨等災害復旧事業の進捗状況

全体事業費４９６億円のうち、令和４年８月末の契約額は３２３億円で、６５％が契約済み



≪参考≫市町村の進捗状況

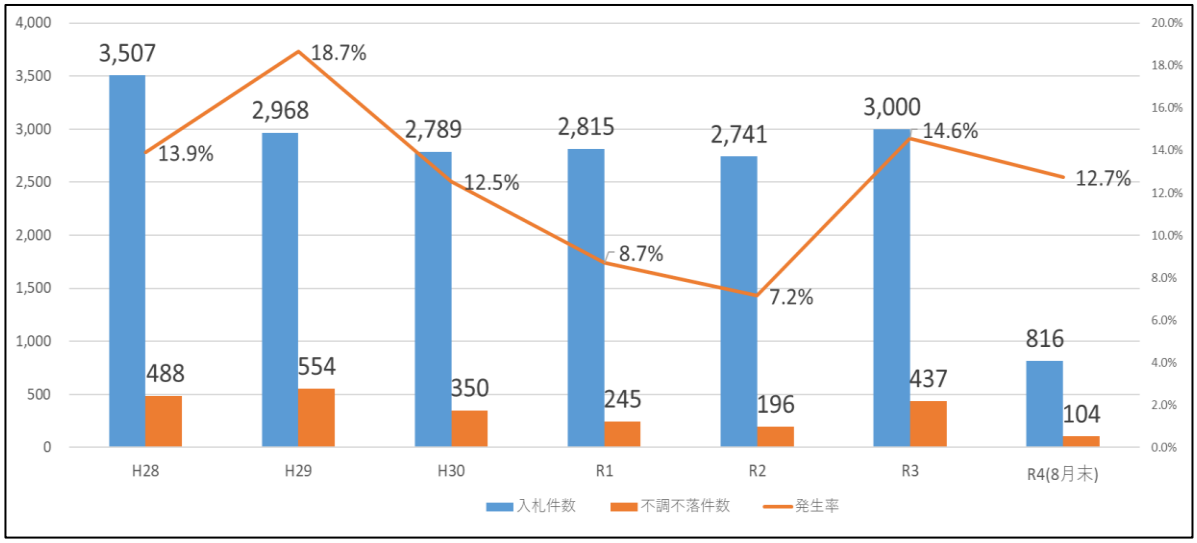


２　県工事（農林水産部・土木部）の不調・不落の状況

県工事の不調・不落率は、令和２年７月豪雨災害以降上昇し、令和３年８月から１１月にかけてピークとなり、その後下降傾向にあったが、令和４年度に入り、発注の増加に伴いやや上昇している状況。

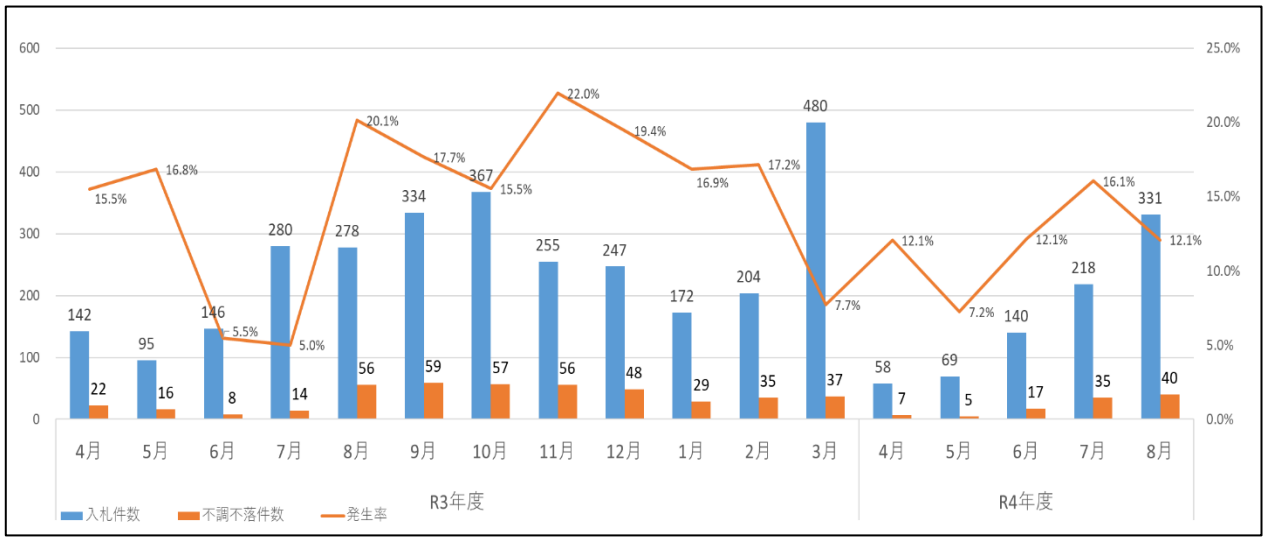
令和２年７月豪雨災害に係る災害関連工事が集中している県南地域においては、八代・芦北地域では落ち着いてきているが、球磨地域では、依然として不調・不落が発生している状況。

①　年度別（熊本地震後）の状況



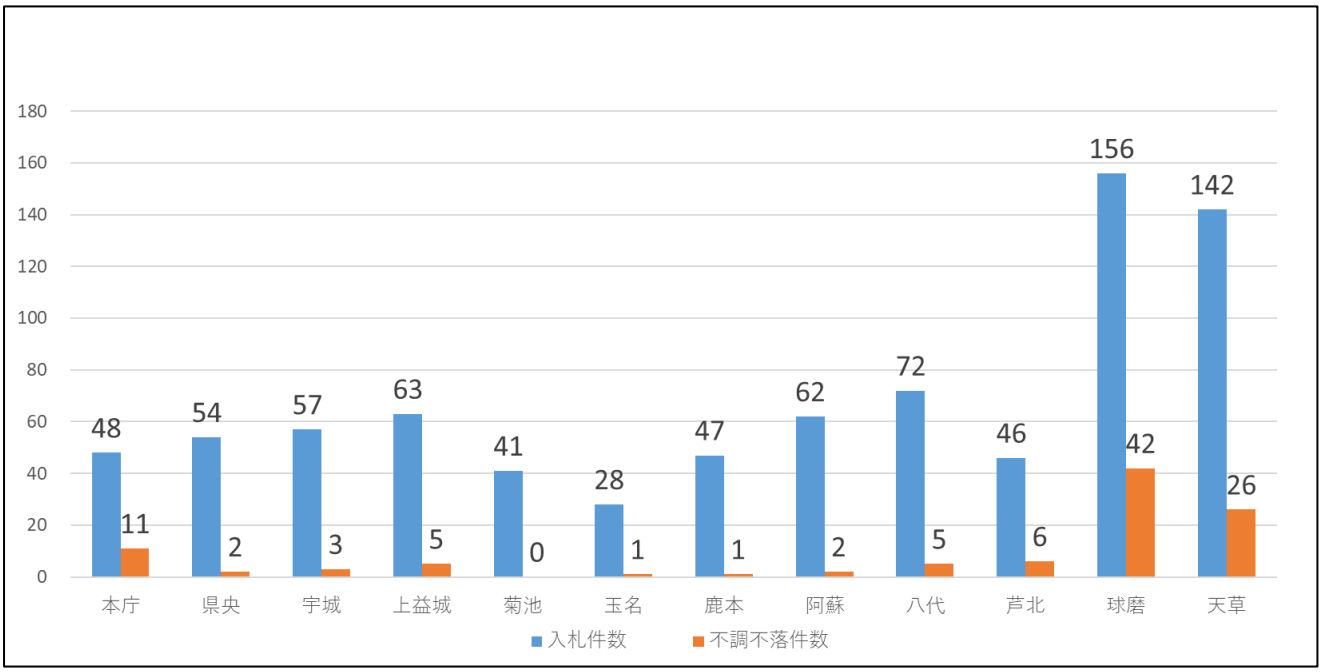
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4(8月末)
入札件数	3,507	2,968	2,789	2,815	2,741	3,000	816
不調不落件数	488	554	350	245	196	437	104
発生率	13.9%	18.7%	12.5%	8.7%	7.2%	14.6%	12.7%

②　月別の状況



	R3年度												R4年度				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
入札件数	142	95	146	280	278	334	367	255	247	172	204	480	58	69	140	218	331
不調不落件数	22	16	8	14	56	59	57	56	48	29	35	37	7	5	17	35	40
発生率	15.5%	16.8%	5.5%	5.0%	20.1%	17.7%	15.5%	22.0%	19.4%	16.9%	17.2%	7.7%	12.1%	7.2%	12.1%	16.1%	12.1%

③　発注機関別（令和４年度）の状況



	本庁	県央	宇城	上益城	菊池	玉名	鹿本	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草	合計
入札件数	48	54	57	63	41	28	47	62	72	46	156	142	816
不調不落件数	11	2	3	5	0	1	1	2	5	6	42	26	104
発生率	22.9%	3.7%	5.3%	7.9%	0.0%	3.6%	2.1%	3.2%	6.9%	13.0%	26.9%	18.3%	12.7%

【参考】これまでの不調・不落対策（入札契約制度見直し）

時期	実施内容
第１弾 【令和３年１月～】	**○指名競争入札対象の拡大（土木一式工事、舗装工事、法面処理工事）** ・災害関連等工事 ・３千万円未満を７千万円未満に引き上げ
第２弾 【令和３年４月～】	**○指名競争入札対象の拡大（土木一式工事、舗装工事、法面処理工事）** **（～令和３年９月）** ・災害関連等工事 ・令和２年度予算（未契約繰越分）の国土強靭化等に係る工事 ・３千万円未満を７千万円未満に引き上げ
	○総合評価落札方式（簡易型）の拡大等（土木一式工事、舗装工事、法面処理工事） **（土木一式工事～令和３年10月、舗装工事・法面処理工事～令和３年９月）** ・災害関連等工事 ・参加資格に施工実績を設定する工事（予定価格が２億円以上５億円未満）で、施工計画の提案を求める総合評価落札方式（基本型）を施工計画の提案を求めない総合評価落札方式（簡易型）に見直し ・予定価格が５億円以上の工事は総合評価落札方式（基本型Ⅱ：施工計画６項目）を総合評価落札方式（基本型Ⅰ：施工計画４項目）に見直し
第３弾 【令和３年10月～】	**○指名競争入札対象の拡大の一部延長（土木一式工事）** **（令和３年10月～令和４年３月）** ・災害関連等工事 ・３千万円未満を７千万円未満に引き上げ
	○復旧・復興建設工事共同企業体（復興ＪＶ）の導入 **（令和３年11月～令和５年３月）** ・災害関連等工事（土木一式Ａ１等級工事） ・現行の組み合わせに以下の組合せを導入 【３億円以上５億円未満】　Ａ１・Ａ２・Ａ２（３者） 【７千万円以上３億円未満】Ａ１・Ａ２（２者） Ａ２・Ａ２（２者）（１億４千万円未満）
	○総合評価落札方式（災害関連等工事型）の導入（令和３年11月～令和５年３月） ・地域精通度、地域貢献度の評価項目を設定しない ・復興ＪＶでの入札参加を評価項目に追加（７千万円以上３億円未満）
	○総合評価落札方式（通常工事型）における評価項目の改定 **（令和３年11月～令和５年３月）** ・災害関連等工事の受注件数を評価項目に追加
第４弾 【令和４年４月～】	**○指名競争入札対象拡大の延長（土木一式工事）　（～令和４年９月）** ・災害関連等工事 ・３千万円未満を７千万円未満に引き上げ
	○復興ＪＶ（Ａ２・Ａ２ＪＶ）の請負対象金額の引き上げ　（～令和５年３月） ・Ａ２・Ａ２ＪＶの請負対象金額を１億７千万円に引き上げ
	○現場代理人常駐義務の緩和　（期間を限定せず） ・７千万円未満（３件以内）の請負金額合計の上限を廃止
第５弾 【令和４年７月～】	**○災害関連等工事（土木一式工事Ｂ等級）の発注標準引き上げ　（～令和５年３月）** ・災害関連等工事 ・１千５百万円未満を３千万円未満に引き上げ ・対象地域　県南広域本部・芦北地域振興局・球磨地域振興局管内

令和４年９月熊本県議会定例会

農林水産常任委員会報告資料

②　原油価格・物価高騰等への対応状況について

農 林 水 産 部

原油価格･物価高騰等への対応状況について

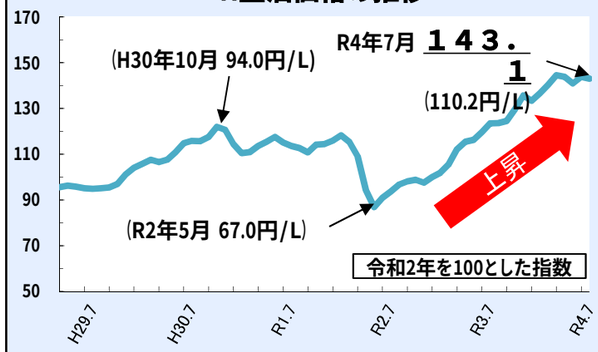
令和４年９月
熊本県農林水産部

- 農林水産業においては、令和２年と比較し、燃油、肥料、飼料等の生産資材の価格は１～４割上昇しており、農林漁業者の経営への影響が拡大。
- これまで、４月の緊急要請、５月の政府提案において、国に対し既存セーフティネット事業の予算積み増しや運用改善、省エネ機器･設備の導入支援や肥料高騰への対策を要望。
- さらに、新型コロナ地方創生臨時交付金を活用し、県独自に、園芸･特産事業者の省エネ資機材等の導入支援や、肥料や配合飼料高騰による生産者負担の軽減などの対策を措置。
- 今後も、物価の動向を注視し、必要な対策を検討していく。

現　状

燃油

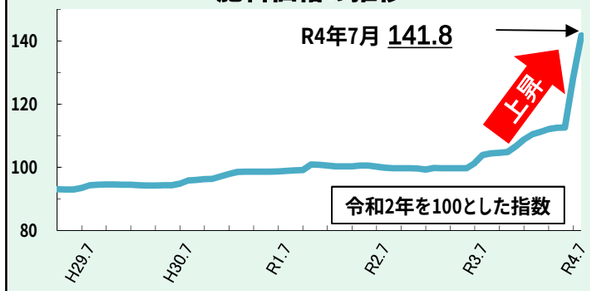
A重油価格の推移



出典：農業物価統計調査（農林水産省）農業物価指数

肥料

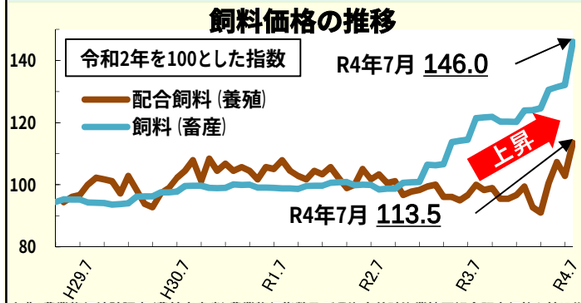
肥料価格の推移



出典：農業物価統計調査（農林水産省）農業物価指数

飼料

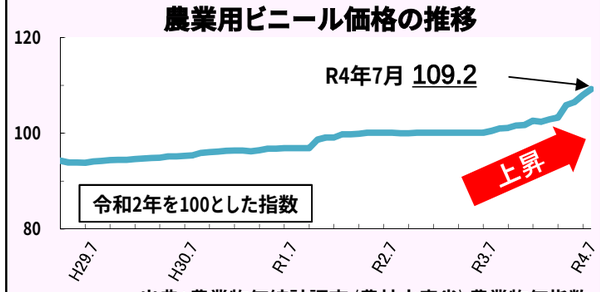
飼料価格の推移



出典：農業物価統計調査（農林水産省）農業物価指数及び県海水養殖漁業協同組合販売価格を基に作成

資材

農業用ビニール価格の推移



出典：農業物価統計調査（農林水産省）農業物価指数

国への緊急要望･政府提案

１．燃油価格高騰対策・セーフティネット構築事業、漁業経営セーフティネット構築事業の発動に備えた予算確保と柔軟な対応
･補てん金の増大に対応できるよう**国予算の積増し**
･農業分野では、積立金の分割納付が可能となる制度拡充や急騰特例措置の継続、期中でも未加入者が制度に加入できるなどの柔軟な対応

２．燃油等コスト低減に資する資機材導入に対する助成制度の創設
･燃油･肥料等価格高騰の影響を受けた農業者に対して、**緊急的に燃油･肥料等コスト低減に資する資機材を導入する際の助成制度の創設**

１．化学肥料の低減に取り組む農業者に対する肥料費の増加分の支援
･肥料価格高騰に係る緊急的な影響緩和策として、燃油価格高騰対策と同様、化学肥料の施用量を低減する農業者に対して、肥料費の増加分を助成する対策の実施

２．肥料コスト低減技術の開発と導入支援
･生産現場が安心して取り組める肥料コスト低減技術の開発及び新技術導入に係る経費の助成

１．配合飼料価格高騰に対する支援
･再生産可能な畜産経営を維持できるよう、配合飼料価格安定制度の安定的な運用と国産飼料増産に係る施策の充実･強化

１．資材等の高騰による経営への影響を緩和し、経営継続につながる対策の実施
･燃料だけではなく、被覆資材や肥料、ノリ繋殖用網等資材も高騰していることから、農林漁業セーフティネット資金の無利子化を行うなど、資材高騰による経営の影響を緩和するとともに、**経営継続につながる対策の実施**

主な対策

国　**施設園芸等セーフティーネット構築事業**
燃油の平均価格が発動基準価格を上回った場合に差額を生産者へ補てん金として交付（R4.3 運用改善）

国　**林業・木材産業成長産業化促進対策（木材産業等競争力強化対策）**
特用林産物生産者等が組織する団体が行う、省エネ化を目的とした共同利用施設整備等に対する支援
（R4.3　臨時的に要件見直し）

国　**漁業経営セーフティーネット構築事業**
原油･配合飼料価格が基準を超えて上昇した場合に、漁業者等へ補てん金を交付（R4.3　基金の積み増し）

国　**肥料価格高騰対策事業**
化学肥料を前年から2割以上の低減を2年間で取り組む農家に対し、肥料コストの増加分の7割を補填（R4.7 創設）

県　**肥料価格高騰緊急支援事業（R4年度.6補　組替え）**
国の肥料価格高騰対策事業における国の補助残分の２分の１を補填

県　**国産肥料安定供給支援事業（R4年度.6補）**
牛ふん堆肥等未利用資源等を用いた特殊肥料と普通肥料等を組み合わせた指定混合肥料の生産支援等

国　**配合飼料価格安定制度**
配合飼料価格の高騰に対応し、生産者へ補てん金を交付
（R4.4　基金の積み増し･臨時的な要件緩和）

県　**配合飼料価格高騰緊急支援事業（R4年度.6補）**
配合飼料価格安定制度の加入者に対し、生産者積立金の増額分（R3：400円→R4：600円の差額200円/t相当）を助成

国　**漁業経営セーフティーネット構築事業【再掲】**

県　**園芸・特産事業者緊急支援事業（R3年度.２補）**
コロナの影響に加え、燃油や資材コスト上昇の影響を受けた園芸･特産農家に対して、省エネ資機材や局所施肥機等の導入を支援

国　**農林漁業セーフティネット資金**
燃油高騰等の影響を受けた農林漁業者に対し、実質無利子化･無担保化等を措置（R4.4　支援対象の追加）

引き続き、国への要望･政府提案を実施

電力･ガス･食料品等価格高騰重点支援地方交付金の創設
（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額･強化）

- **エネルギー･食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地域の実情に合わせて必要な支援をきめ細やかに実施する地方公共団体の取組みに、より重点的･効果的に活用される仕組みへと見直しを図りつつ、対策を一層強化するため、「電力･ガス･食料品等価格高騰重点支援地方交付金」が創設**

予算額：全国 6,000億円
うち本県交付限度額（配分額）
62.6億円
（見込み）

交付対象：都道府県及び市町村

（下線：国の緊急対策等で実現された項目　**朱書き**：未実現項目）

《熊本県》原油価格・物価高騰の影響に対する農林漁業者の皆様への主な支援策

（R4.9.9時点）

目的	事業名	内容	問合せ先	参考リンク
経営継続	【国】 農林漁業セーフティネット資金	コロナ禍における原油価格･物価高騰の影響により経営が悪化した農林漁業者への資金融資	県団体支援課 096-333-2371	
	【県】 新型コロナウイルス対策経営安定資金 （農業）（林業）（漁業）	コロナ禍に加え原油価格･物価高騰によって経営が悪化した農林漁業者に対する制度資金	県団体支援課 096-333-2371	熊本県HP
影響緩和	【国】 施設園芸等セーフティネット構築事業 （施設園芸セーフティネット構築事業） （茶セーフティネット構築事業）	農業者と国の拠出により資金造成し、燃油（A重油、灯油）価格が発動基準価格を超えた場合に補てん金を交付	県農産園芸課 （施設園芸） 096-333-2392 （茶） 096-333-2390	農林水産省HP
	【国】 配合飼料価格安定制度	配合飼料価格の上昇が畜産経営に及ぼす影響を緩和するため、① 民間（生産者と配合飼料メーカー）の積立てによる「通常補塡」と、② 異常な価格高騰時に通常補塡を補完する「異常補塡」（国と配合飼料メーカーが積立て）の 二段階の仕組みで生産者に対して、補塡を実施	県畜産課 096-333-2398	農林水産省HP
	【県】 配合飼料価格高騰緊急支援事業	配合飼料価格安定制度における令和4年度生産者積立金の増額分（200円/t）を助成	県畜産課 096-333-2398	熊本県HP
	【国】 漁業経営セーフティネット構築事業 （燃油価格高騰対策） （養殖用配合飼料価格高騰対策）	漁業者･養殖業者と国の拠出により資金を積み立て、燃油価格や配合飼料価格が高騰した時に補てん金を交付	県水産振興課 096-333-2831	水産庁HP

《熊本県》原油価格・物価高騰の影響に対する農林漁業者の皆様への主な支援策

（R4.9.9時点）

目的	事業名	内容	問合せ先	参考リンク
省エネ資機材等の導入	【国】 強い農業づくり総合支援交付金 （みどりの食料ｼｽﾃﾑ戦略の推進枠）	重油のコスト低減に向けたヒートポンプ等の導入に対する助成 ※低コスト耐候性ハウス等の導入に限る	県農産園芸課 096-333-2387	農林水産省HP
	【国】 産地生産基盤パワーアップ事業 （施設園芸エネルギー転換枠）	重油のコスト低減に向けたヒートポンプ等の導入に対する助成 ※耐候性ハウス等以外の導入に限る	県農産園芸課 096-333-2387	農林水産省HP
	【国】 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 （畜産クラスター事業、飼料増産優先枠） ※令和4年度事業は9/22募集終了予定	飼料自給率の向上に必要な機械導入や自給飼料の生産・利用拡大に必要な施設整備等を支援	県畜産課 096-333-2399	農林水産省HP
	【国】 林業・木材産業成長産業化促進対策交付金 （木材産業等競争力強化対策）	木材の人工乾燥について、燃油を使用しない木屑焚きボイラーの導入を支援	県林業振興課 096-333-2448	林野庁HP
	【県】 特用林産物省エネ機器緊急整備支援事業	特用林産物生産者等が組織する団体等が行う、省エネルギー化を目的とした共同利用施設の整備等に対する助成	県林業振興課 096-333-2446	
	【国】 水産業競争力強化緊急事業 （競争力強化型機器等導入緊急対策事業）	生産性の向上、省力・低コスト化に資する漁業用機器等の導入を支援	県水産振興課 096-333-2457	
	【県】 水産業省エネ施設等緊急整備支援事業	漁協が行う、省エネルギー化を目的とした共同利用施設の整備等に対する助成	県水産振興課 096-333-2457	

《熊本県》原油価格・物価高騰の影響に対する農林漁業者の皆様への主な支援策

（R4.9.9時点）

目的	事業名	内容	問合せ先	参考リンク
肥料費削減等	【国】 肥料価格高騰対策事業	化学肥料の低減に取り組む農業者に対し、前年からの肥料費の増加額の一部を補填	県農業技術課 096-333-2381	農林水産省HP
	【県】 肥料価格高騰緊急支援事業	国の肥料価格高騰対策事業における国の補助残分の1/2を補填	県農業技術課 096-333-2381	
	【国】 肥料コスト低減体系緊急転換事業 ※5次公募県締切：9/27	慣行の施肥体系から肥料コスト低減体系への転換を進める取組として、土壌診断や局所施肥技術等の肥料コスト低減に資する技術の導入支援	県農業技術課 096-333-2381	農林水産省HP
	【県】 国産肥料安定供給支援事業	県内由来の未利用資源等（牛ふん堆肥等）を用いた特殊肥料と普通肥料等を組み合わせた指定混合肥料の生産支援や栽培実証の一部を助成	県農業技術課 096-333-2381	
原料切替	【国】 輸入小麦等食品原材料価格高騰緊急対策事業	・原材料を切り替えた新商品等の生産・販売 価格転嫁に見合う付加価値の高い新商品の開発を含む ・原材料の使用コストを削減した新商品等の生産・販売、新たな生産方法の導入	県農産園芸課 096-333-2389	農林水産省HP
	【国】 水産加工業原材料調達円滑化緊急対策事業	ウクライナ情勢により安定供給に支障が生じている原材料水産物を使用している水産加工業者に対し、代替原材料の調達に伴う輸送、販路開拓、原材料転換に必要な加工機器導入等の取組を支援	県水産振興課 096-333-2457	水産庁HP
再造林支援	【県】 森林再生支援事業	木材価格高騰により森林の主伐が進行する中、再造林の取組みを拡大する森林組合等の資材費や燃料費を支援	県森林整備課 096-333-2434	

令和４年９月熊本県議会定例会

農林水産常任委員会報告資料

③　台風１４号による農林水産関係被害等について（速報）

農 林 水 産 部

台風１４号による農林水産業の被害について（速報）

対応等

- 農作物の品目ごとの事前・事後対策を取りまとめた、「台風14号接近に伴う農作物被害防止技術対策」を発出し、農家等へ周知（9月15日（木））。
- 清願寺ダム（球磨郡あさぎり町）、志岐ダム（天草郡苓北町）、教良木ダム（上天草市）では、予想される降雨量が、行政、土地改良区等による「治水協定」で定められている基準降雨量を超過したため、事前放流により、その貯水能力の最大化を実現（9月16日（金）以降）。
- 牛深ハイヤ大橋については、歩行者及び自転車、バイクの交通を規制（9月18日（日）午後1時15分から9月19日（月）午前7時まで）。なお、交通規制期間中の事故や損傷した支承の応急措置箇所を含め橋梁の異常は確認されていない。
- 土砂流出等が懸念される林地開発中の現場の緊急調査を実施したが、異常は確認されていない（9月19日（月）以降）。
- 農林漁業者による適時・適切な対応等により、県全体として被害の最小化が図られたと認識。
- 清願寺ダムの事前放流をはじめ、今回の取組みをしっかりと検証し、今後の対応に生かしていく。

台風14号による農林水産業の被害（9月26日時点）【速報】

項　　目	主な被害状況	被害箇所数等	被害額	主な被害地域
農作物等	水稲の倒伏、野菜類の茎葉損傷、果実の落果等	661ha	1.1億円	球磨、阿蘇、上益城
	牛舎屋根の損傷、ビニルハウスの損傷等	228箇所	0.5億円	阿蘇、上益城、球磨
農地・農業用施設	田畑の畦畔の損傷やため池への土砂等の流入等	177箇所	18.3億円	球磨、阿蘇、県北
林業	山腹崩壊や林道の法面崩壊等	222箇所	23.3億円	球磨、県南、上益城
水産	筏破損による養殖魚の逸散、桟橋の損傷等	14箇所	0.4億円	天草、芦北、県央
（合　計）			43.7億円	

（注）被害状況については今後変更する可能性があります。また、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがあります。

台風１４号による農林水産業の被害状況

クリの落果（山鹿市）

桟橋の損傷（上天草市）

水稲の倒伏（八代市）

ヨシ等の漂着※（八代市）

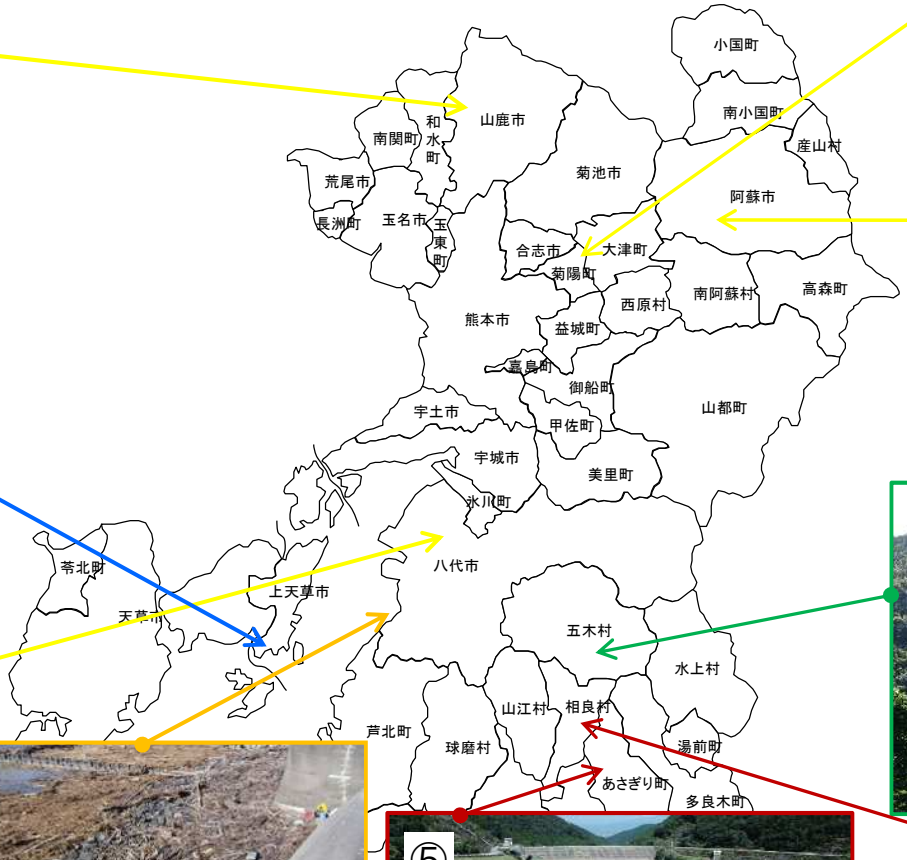
ダム湖への土砂等の流入
（球磨郡あさぎり町）

農道の損傷（球磨郡相良村）

山腹の崩壊（球磨郡五木村）

牛舎屋根等の損傷（阿蘇市）

ビニルハウスの損傷（菊池郡菊陽町）



※有明海、八代海合せて、2,100m³の漂着物を確認。
９月20日から国・県・漁協が連携して回収中。

清願寺（せいがんじ）ダムの事前放流の取組みについて

（1） ダム及び治水協定の概要

・本ダムは、一級河川球磨川水系免田川（球磨郡あさぎり町）に防災及びかんがいを目的とする多目的ダムとして、昭和59年度（1984年度）に築造。

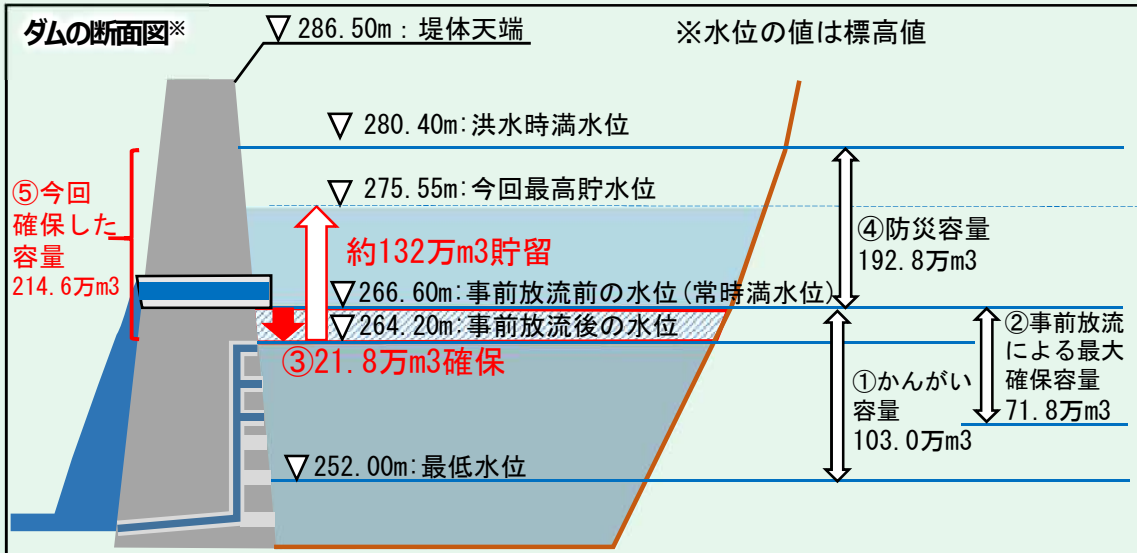
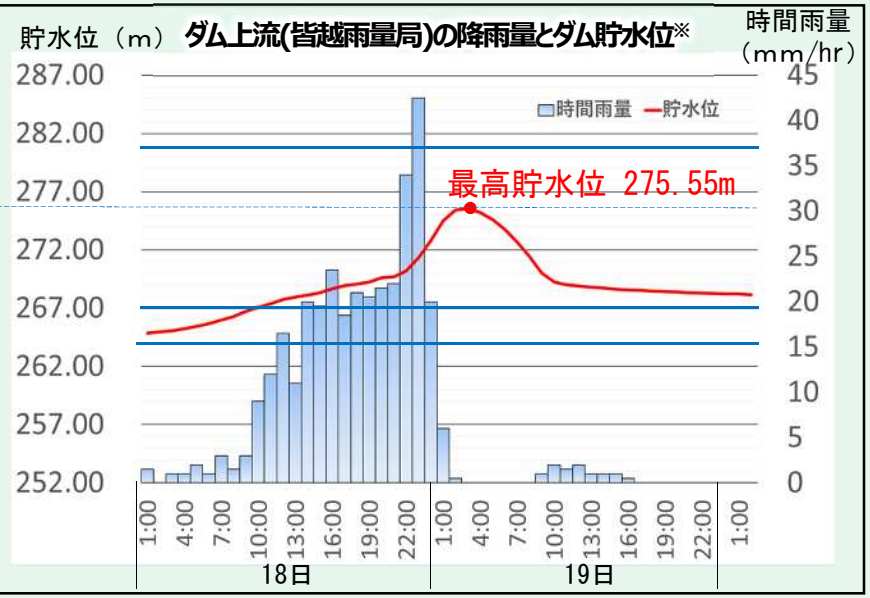
・令和2年（2020年）5月、一級河川球磨川水系で運用されている6ダム※について、既存ダムの利水容量の一部を洪水調節に活用するため、関係者で「球磨川水系治水協定」（以下、治水協定）を締結。

※球磨川水系で運用されているダム：市房ダム、幸野ダム、瀬戸石ダム、内谷ダム、油谷ダム、清願寺ダム

・治水協定における清願寺ダムの事前放流は、①かんがい容量103．0万m³のうち、②71.8万m³の範囲内で実施することとなっている。

清願寺ダム

（2） 事前放流の取組状況

・台風14号の来襲にあたり、治水協定で設定された基準降雨量を予測降雨量が超過したことにより、関係者（県、あさぎり町、上村土地改良区）で事前放流の実施について協議し、9月16日午前10時から事前放流を開始。

・事前放流の実施により③21．8万m³を確保したことで、④防災容量192.8万m³と合せて、⑤214.6万m³の洪水調節容量を確保。